

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券								
信託期間	2011年9月30日から2026年8月10日まで								
運用方針	<p>①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>②高金利通貨で為替取引を行います。</p>								
主要投資対象	<table border="1"> <tr> <td>りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース</td><td>投資信託証券</td></tr> <tr> <td>日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)</td><td>アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等</td></tr> <tr> <td>ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)</td><td></td></tr> <tr> <td>マネープールマザーファンド</td><td>わが国の公社債等</td></tr> </table>	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース	投資信託証券	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)		マネープールマザーファンド	わが国の公社債等
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース	投資信託証券								
日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等								
ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)									
マネープールマザーファンド	わが国の公社債等								
主な組入制限	<table border="1"> <tr> <td>りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース</td><td>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。</td></tr> <tr> <td>日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)</td><td>有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。</td></tr> <tr> <td>ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)</td><td></td></tr> <tr> <td>マネープールマザーファンド</td><td>株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。</td></tr> </table>	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)		マネープールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。								
日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。								
ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)									
マネープールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。								
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>								

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

運用報告書（全体版）

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース

第161期（決算日 2025年3月10日）

第162期（決算日 2025年4月10日）

第163期（決算日 2025年5月12日）

第164期（決算日 2025年6月10日）

第165期（決算日 2025年7月10日）

第166期（決算日 2025年8月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド
高金利通貨コース」は、このたび第166期の決算を行いましたので、第161期～第166期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

 <https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先

 リテール営業部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	基準価額					債組入比率	投資信託券組入比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰	中落率			
137期(2023年3月10日)	円 1,305		円 30		% 2.1		% —	% 95.9	百万円 1,768
138期(2023年4月10日)	1,233		30		△3.2		—	93.9	1,400
139期(2023年5月10日)	1,232		30		2.4		—	93.7	1,255
140期(2023年6月12日)	1,218		30		1.3		—	93.9	1,259
141期(2023年7月10日)	1,172		30		△1.3		—	92.5	1,077
142期(2023年8月10日)	1,141		30		△0.1		—	92.7	1,250
143期(2023年9月11日)	1,141		30		2.6		—	94.4	1,274
144期(2023年10月10日)	1,092		30		△1.7		—	95.2	1,239
145期(2023年11月10日)	1,127		30		6.0		—	93.4	1,374
146期(2023年12月11日)	1,069		30		△2.5		—	93.8	1,334
147期(2024年1月10日)	1,065		20		1.5		—	81.9	1,592
148期(2024年2月13日)	1,087		20		3.9		—	94.6	1,595
149期(2024年3月11日)	1,059		20		△0.7		—	95.2	1,555
150期(2024年4月10日)	1,093		20		5.1		0.3	95.6	1,814
151期(2024年5月10日)	1,104		20		2.8		0.4	95.7	1,838
152期(2024年6月10日)	1,097		20		1.2		0.4	93.4	1,835
153期(2024年7月10日)	1,126		20		4.5		0.5	95.5	1,714
154期(2024年8月13日)	1,023		20		△7.4		0.7	94.5	1,311
155期(2024年9月10日)	977		20		△2.5		0.6	94.4	1,263
156期(2024年10月10日)	1,034		15		7.4		0.6	94.3	1,343
157期(2024年11月11日)	1,048		15		2.8		0.3	96.9	1,287
158期(2024年12月10日)	1,010		15		△2.2		0.5	96.0	1,220
159期(2025年1月10日)	1,014		15		1.9		0.7	96.5	1,211
160期(2025年2月10日)	985		15		△1.4		0.7	95.5	1,176
161期(2025年3月10日)	972		15		0.2		0.6	95.3	1,167
162期(2025年4月10日)	862		15		△9.8		0.8	94.6	1,041
163期(2025年5月12日)	928		15		9.4		0.6	94.7	1,156
164期(2025年6月10日)	935		15		2.4		0.7	94.2	1,175
165期(2025年7月10日)	950		15		3.2		0.5	95.1	1,197
166期(2025年8月12日)	967		15		3.4		0.7	94.6	1,228

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万口当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマネーブールマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指數は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	債 組 入 比		投 資 信 託 累 紋 入 比
			騰	落	
第161期	(期 首) 2025年 2月 10日	円 985		% —	% 0.7 95.5
	2月末	988		0.3	0.6
	(期 末) 2025年 3月 10日	987		0.2	0.6
					95.3
第162期	(期 首) 2025年 3月 10日	972		—	0.6
	3月末	978		0.6	0.6
	(期 末) 2025年 4月 10日	877		△9.8	0.8
					94.6
第163期	(期 首) 2025年 4月 10日	862		—	0.8
	4月末	919		6.6	0.8
	(期 末) 2025年 5月 12日	943		9.4	0.6
					94.7
第164期	(期 首) 2025年 5月 12日	928		—	0.6
	5月末	943		1.6	0.7
	(期 末) 2025年 6月 10日	950		2.4	0.7
					94.2
第165期	(期 首) 2025年 6月 10日	935		—	0.7
	6月末	950		1.6	0.7
	(期 末) 2025年 7月 10日	965		3.2	0.5
					95.1
第166期	(期 首) 2025年 7月 10日	950		—	0.5
	7月末	967		1.8	0.7
	(期 末) 2025年 8月 12日	982		3.4	0.7
					94.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

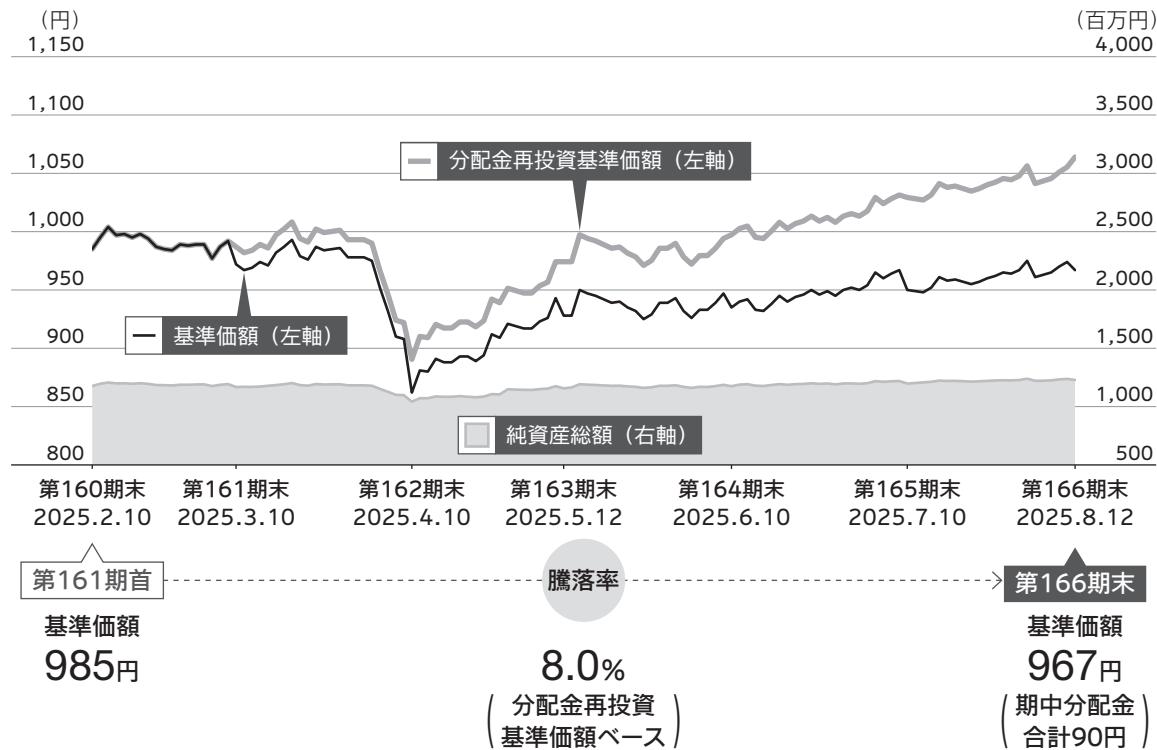
(注2) 債券組入比率はマネーブールマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンデベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指標等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2025年2月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指標等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」は、いずれも債券部分、為替部分ともにプラスに寄与したことから、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 投資環境

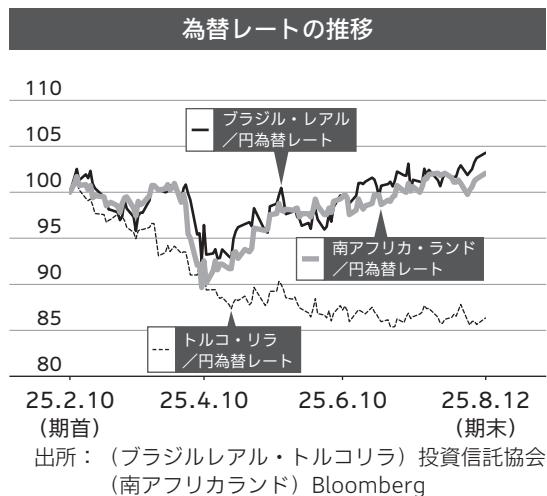
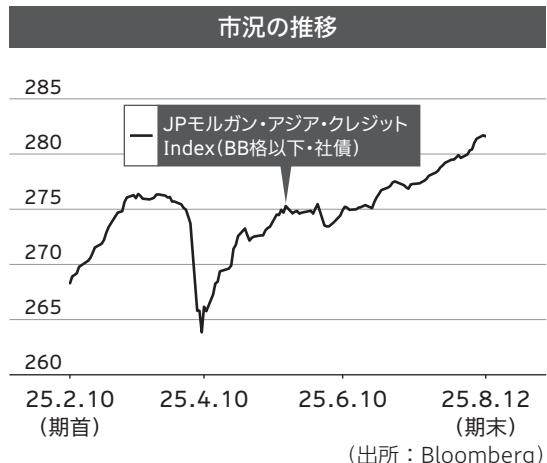
当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。トランプ政権による関税政策を受けた米国景気の減速懸念から、米国国債利回りは低下（価格は上昇）しました。その後は、米国の財政悪化懸念や格下げを受けて利回りが上昇（価格は下落）する局面もありましたが、FRB（米連邦準備理事会）による利下げ観測の高まりなどにより、利回りは低下基調となりました。

当期のクレジットスプレッドについては、米国の景気減速懸念から拡大した後、貿易交渉の進展等を好感し、縮小する動きとなりました。

米国国債利回りの低下や、クレジットスプレッドの縮小により、債券価格は上昇しました。

ドル円相場は、円高ドル安になりました。相互通貨を巡る不透明感や米国の景気減速懸念から、円高ドル安が進行しました。その後、貿易交渉の進展や堅調な米国の経済指標を受け、ドルが買い戻される動きとなりましたが、期を通してみると、円高ドル安となりました。

このような環境下、高金利通貨について、スポットの対円変化として、トルコリラは下落し、ブラジルレアルと南アフリカランドは上昇しました。



注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 為替レートは期首を100として指数化しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を高位に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券のインカム収入や利回りの低下により、債券部分はプラスに寄与しました。また、ブラジルレアルや南アフリカランドが対円で上昇したことや、トルコリラのキャリー効果などから為替部分もプラスに寄与しました。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券のインカム収入や利回りの低下により、債券部分はプラスに寄与しました。また、ブラジルレアルや南アフリカランドが対円で上昇したことや、トルコリラのキャリー効果などから為替部分もプラスに寄与しました。

マネープールマザーファンド

コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第161期 2025.2.11 2025.3.10	第162期 2025.3.11 2025.4.10	第163期 2025.4.11 2025.5.12	第164期 2025.5.13 2025.6.10	第165期 2025.6.11 2025.7.10	第166期 2025.7.11 2025.8.12
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	1.520%	1.710%	1.591%	1.579%	1.554%	1.527%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,336	7,342	7,348	7,354	7,360	7,366

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジアのクレジットスプレッドはややタイトな水準にあるものの、安定したクレジットファンダメンタルズと良好な需給が市場を下支えすると見ています。一方で、貿易や関税に関する不確実性や、米国の景気や金融政策の先行きに対する不透明感が、短期的に市場の逆風となる可能性があるため、当面は慎重なスタンスを取る方針です。利回り収入の確保を念頭に、市場動向を踏まえながら安定したポートフォリオ運営を継続する方針です。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

トランプ大統領と各国との関税交渉に進展が見られ、市場の不確実性が後退したことで、クレジットスプレッドは縮小しています。今後は米国経済の下振れリスクが懸念されますが、一方で、アジアのクレジット市場では新規発行が少ない中、良好な需給が市場を下支えするものと見ています。引き続き、安定したクレジットファンダメンタルズでありながら利回り水準の高い銘柄に選別的に投資することで、リターンの確保に努める所存です。

マネープールマザーファンド

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第161期～第166期 2025.2.11～2025.8.12		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	5円	0.507%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率）× 各期の日数 年間の日数 期中の平均基準価額は957円です。
(投信会社)	(2)	(0.210)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(3)	(0.281)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.005	(b) その他費用 = 各期中のその他費用 各期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	5	0.512	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

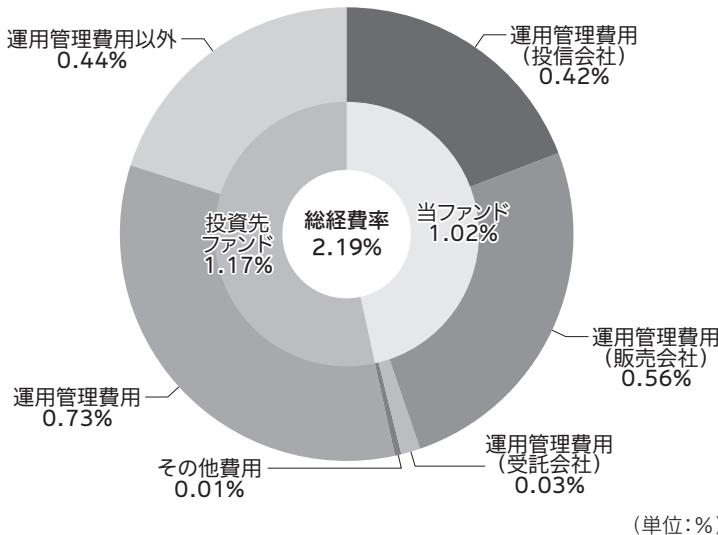
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月11日～2025年8月12日)

投資信託証券

銘 柄	第161期～第166期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国 内		口 千円	口 千円	
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	4,507,659	94,000	—	—
Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 3 (HYC)	143,769	5,000	—	—
合 計	4,651,428	99,000	—	—

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月11日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第160期末		第166期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率	
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	22,474,706	26,982,365	千円 579,338	% 47.2	
Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 3 (HYC)	16,454,683	16,598,452	582,423	47.4	
合 計	38,929,389	43,580,817	1,161,761	94.6	

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第160期末		第166期末	
	口 数	口 数	評 価 額	千円
マネープールマザーファンド	千口	12,112	千口	12,120

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第166期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2025年8月12日現在)

項 目	第166期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
マネープールマザーファンド	1,161,761	93.0
コール・ローン等、その他	12,120	1.0
投資信託財産総額	75,825	6.0
	1,249,706	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第161期末	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末
	2025年3月10日現在	2025年4月10日現在	2025年5月12日現在	2025年6月10日現在	2025年7月10日現在	2025年8月12日現在
(A) 資産	円	円	円	円	円	円
ユール・ローン等	1,189,366,007	1,062,084,283	1,178,024,235	1,196,479,839	1,220,552,543	1,249,706,519
投資信託受益証券(評価額)	64,789,851	64,252,657	70,663,318	77,859,588	70,120,387	75,824,272
マネープールマザーファンド(評価額)	1,112,473,643	985,725,484	1,095,251,080	1,106,506,711	1,138,315,057	1,161,761,459
未収利息	12,101,892	12,105,526	12,109,160	12,112,794	12,116,427	12,120,061
(B) 負債	621	616	677	746	672	727
未払収益分配金	21,442,966	20,148,376	21,565,242	21,275,978	22,982,697	21,626,863
未払解約金	18,018,697	18,140,233	18,691,911	18,856,351	18,905,266	19,056,494
未払信託報酬	2,490,582	988,776	1,874,209	1,464,270	3,072,282	1,440,119
その他未払費用	923,855	1,008,633	988,601	945,297	994,564	1,118,348
(C) 純資産総額(A-B)	9,832	10,734	10,521	10,060	10,585	11,902
元本	1,167,923,041	1,041,935,907	1,156,458,993	1,175,203,861	1,197,569,846	1,228,079,656
次期繰越損益金	12,012,464,918	12,093,488,943	12,461,274,220	12,570,900,915	12,603,511,260	12,704,329,575
(D) 受益権総口数	△10,844,541,877	△11,051,553,036	△11,304,815,227	△11,395,697,054	△11,405,941,414	△11,476,249,919
1万口当たり基準価額(C/D)	12,012,464,918口	12,093,488,943口	12,461,274,220口	12,570,900,915口	12,603,511,260口	12,704,329,575口
	972円	862円	928円	935円	950円	967円

(注1) 当作成期間(第161期末～第166期末)における期首元本額11,949,700,962円、期中追加設定元本額1,273,018,922円、期中一部解約元本額518,390,309円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第161期0.0972円、第162期0.0862円、第163期0.0928円、第164期0.0935円、第165期0.0950円、第166期0.0967円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第161期10,844,541,877円、第162期11,051,553,036円、第163期11,304,815,227円、第164期11,395,697,054円、第165期11,405,941,414円、第166期11,476,249,919円

○損益の状況

項目	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期
	2025年2月11日～ 2025年3月10日	2025年3月11日～ 2025年4月10日	2025年4月11日～ 2025年5月12日	2025年5月13日～ 2025年6月10日	2025年6月11日～ 2025年7月10日	2025年7月11日～ 2025年8月12日
(A) 配当等収益	円	円	円	円	円	円
受取配当金	25,618,604	25,886,294	26,580,177	27,037,799	27,367,755	27,678,556
受取利息	25,605,269	25,870,652	26,565,047	27,023,492	27,353,571	27,661,222
(B) 有価証券売買損益	△ 21,437,513	△ 140,682,546	74,199,356	1,242,175	11,671,495	13,410,166
売買益	13,335	15,642	15,130	14,307	14,184	17,334
売買損	18,530	63,338	74,501,628	5,258,220	11,799,660	13,446,249
(C) 信託報酬等	△ 21,456,043	△ 140,745,884	△ 302,272	△ 4,016,045	△ 128,165	△ 36,083
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 933,687	△ 1,019,367	△ 999,122	△ 955,357	△ 1,005,149	△ 1,130,250
(E) 前期繰越損益金	3,247,404	△ 115,815,619	99,780,411	27,324,617	38,034,101	39,958,472
(F) 追加信託差損益金	△ 1,386,935,367	△ 1,387,351,767	△ 1,509,234,024	△ 1,423,970,905	△ 1,398,380,960	△ 1,372,685,984
(G) 計(D+E+F)	△ 9,442,835,217	△ 9,530,245,417	△ 9,876,669,703	△ 9,980,194,415	△ 10,026,689,289	△ 10,124,465,913
(H) 収益分配金	(配当等相当額)	(8,248,793,299)	(8,313,990,239)	(8,588,454,976)	(8,670,753,646)	(8,701,687,418)
	(売買損益相当額)	(△17,691,628,516)	(△17,844,235,656)	(△18,465,124,679)	(△18,650,948,061)	(△18,728,376,707)
	(△10,826,523,180)	△11,033,412,803	△11,286,123,316	△11,376,840,703	△11,387,036,148	△11,457,193,425
	△ 18,018,697	△ 18,140,233	△ 18,691,911	△ 18,856,351	△ 18,905,266	△ 19,056,494
	△10,844,541,877	△11,051,553,036	△11,304,815,227	△11,395,697,054	△11,405,941,414	△11,476,249,919
	△ 9,442,835,217	△ 9,530,245,417	△ 9,876,669,703	△ 9,980,194,415	△ 10,026,689,289	△ 10,124,465,913
	(配当等相当額)	(8,248,793,305)	(8,313,990,259)	(8,588,454,999)	(8,670,753,651)	(8,701,687,424)
	(売買損益相当額)	(△17,691,628,522)	(△17,844,235,676)	(△18,465,124,702)	(△18,650,948,066)	(△18,728,376,713)
	564,195,058	565,197,339	568,374,743	573,997,411	574,875,447	580,025,685
	△ 1,965,901,718	△ 2,086,504,958	△ 1,996,520,267	△ 1,998,500,050	△ 1,954,127,572	△ 1,931,809,691

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2025年2月11日～2025年8月12日)は以下の通りです。

項目	2025年2月11日～ 2025年3月10日	2025年3月11日～ 2025年4月10日	2025年4月11日～ 2025年5月12日	2025年5月13日～ 2025年6月10日	2025年6月11日～ 2025年7月10日	2025年7月11日～ 2025年8月12日
a. 配当等収益(費用控除後)	24,686,325円	24,868,670円	26,317,694円	26,125,389円	26,664,010円	26,918,292円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	8,248,793,305円	8,313,990,259円	8,588,454,999円	8,670,753,651円	8,701,687,424円	8,778,618,204円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	557,527,430円	558,468,902円	560,748,960円	566,728,373円	567,116,703円	572,163,887円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	8,831,007,060円	8,897,327,831円	9,175,521,653円	9,263,607,413円	9,295,468,137円	9,377,700,383円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,351円	7,357円	7,363円	7,369円	7,375円	7,381円
g. 分配金	18,018,697円	18,140,233円	18,691,911円	18,856,351円	18,905,266円	19,056,494円
h. 分配金(1万口当たり)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

○分配金のお知らせ

	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期
1万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

＜分配金をお支払いする場合＞

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

＜分配金を再投資する場合＞

- ・お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

＜課税上の取扱いについて＞

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

○お知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」を「運用状況に係る情報」に変更するなどの必要があるため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年4月1日）。

＜参考情報＞組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス3)			
形態	ケイマン籍外国投資信託(円建て)			
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引(対米ドル等)を行います。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">高金利通貨</td> <td style="width: 50%;">クラス3</td> </tr> </table>		高金利通貨	クラス3
高金利通貨	クラス3			
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。			
決算日	毎年12月31日			
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等(監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。			
申込・解約手数料	ありません。			
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド			

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■包括利益計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで)
アメリカドル

収益

銀行利息	51,177
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	698,650
為替差損益	△ 5,028
収益合計	744,799

費用

支払利息	△ 1,854
投資運用報酬	△ 196,169
投資運用報酬 払戻料	6,686
管理報酬	△ 11,462
監査報酬	△ 56,192
保管報酬	△ 19,683
受託者報酬	△ 15,009
その他営業費用	△ 38,703
営業費用合計	△ 332,386

税引前・分配前利益	412,413
税金	—
 税引後・分配前利益	 412,413
分配金	△6,102,199

営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△5,689,786
--------------------------------	------------

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment SeriesNikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■組入上位銘柄

(2024年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
GLP PTE. LTD. 3.875% 04-JUN-2025	シンガポール	3.875%	2025/6/4	3.8%
YANLORD LAND (HK) CO., LIMITED 5.125% 20-MAY-2026	中国	5.125%	2026/5/20	2.8%
SAN MIGUEL GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 8.125% PERP	フィリピン	8.125%	永久債	2.5%
GREENTOWN CHINA HOLDINGS LIMITED 4.7% 29-APR-2025	中国	4.700%	2025/4/29	2.5%
INDIA CLEAN ENERGY HOLDINGS 4.5% 18-APR-2027	インド	4.500%	2027/4/18	2.4%
PINGAN REAL ESTATE CAPITAL LIMITED 3.45% 29-JUL-2026	中国	3.450%	2026/7/29	2.3%
NICKEL INDUSTRIES LIMITED 11.25% 21-OCT-2028	インドネシア	11.250%	2028/10/21	2.2%
LS FINANCE (2017) LTD. 4.8% 18-JUN-2026	香港	4.800%	2026/6/18	2.1%
GOLOMT BANK LLC 11.0% 20-MAY-2027	モンゴル	11.000%	2027/5/20	2.1%
GREENTOWN CHINA HOLDINGS LIMITED 5.65% 13-JUL-2025	中国	5.650%	2025/7/13	2.0%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス3)			
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）			
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引（対米ドル等）を行います。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">高金利通貨</td> <td style="width: 50%;">クラス3</td> </tr> </table>		高金利通貨	クラス3
高金利通貨	クラス3			
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。			
決算日	毎年12月31日			
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。			
申込・解約手数料	ありません。			
投資顧問会社	ライオングローバルインベスタートーズ			

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■包括利益計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで)
アメリカドル

収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	△ 8,814
為替差損益	△ 82,342
受取利息	98,076
その他収益	—
収益合計	6,920

費用

投資運用報酬	123,751
管理報酬	2,411
監査報酬	26,306
保管報酬	1,955
名義書換費用	270
受託者報酬	12,000
その他営業費用	28,133
営業費用合計	194,826

営業損失

△ 187,906
△4,096,025
△4,283,931
△4,283,931

営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少

△4,283,931

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■組入上位銘柄

(2024年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	7.0%
INDIKA INTI ENERGI PT 8.75% DUE 07/05/2029	インドネシア	8.750%	2029/5/7	5.4%
RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	5.2%
SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	4.1%
STUDIO CITY FINANCE LTD 5% DUE 15/01/2029	マカオ	5.000%	2029/1/15	3.8%
FAR EAST HORIZON LTD 6.625% DUE 16/04/2027	中国	6.625%	2027/4/16	3.5%
SHRIRAM FINANCE LTD 6.15% DUE 03/04/2028	インド	6.150%	2028/4/3	3.4%
NWD MTN LTD 8.625% DUE 08/02/2028	香港	8.625%	2028/2/8	3.3%
SHANGHAI COMMERCIAL BANK 6.375% DUE 28/02/2033	香港	6.375%	2033/2/28	3.2%
PRUDENTIAL FUNDING ASIA 2.95% DUE 03/11/2033	香港	2.950%	2033/11/3	3.2%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

マネーポールマザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2025年8月12日）

＜計算期間 2024年8月14日～2025年8月12日＞

マネーポールマザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債組入比率		純資産額
		期騰	中落率	
10期(2021年8月10日)	円 10,011		% △0.1	% — 百万円 133
11期(2022年8月10日)	10,001		△0.1	— 87
12期(2023年8月10日)	9,990		△0.1	— 88
13期(2024年8月13日)	9,983		△0.1	55.1 72
14期(2025年8月12日)	10,006		0.2	72.2 55

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指標等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率
		騰	落		
(期 首) 2024年8月13日	円 9,983		% —		% 55.1
8月末	9,984		0.0		55.1
9月末	9,985		0.0		58.8
10月末	9,986		0.0		58.8
11月末	9,987		0.0		63.7
12月末	9,987		0.0		63.7
2025年1月末	9,988		0.1		72.0
2月末	9,990		0.1		54.2
3月末	9,993		0.1		54.1
4月末	9,996		0.1		72.2
5月末	9,999		0.2		72.2
6月末	10,002		0.2		72.3
7月末	10,005		0.2		72.2
(期 末) 2025年8月12日					
	10,006		0.2		72.2

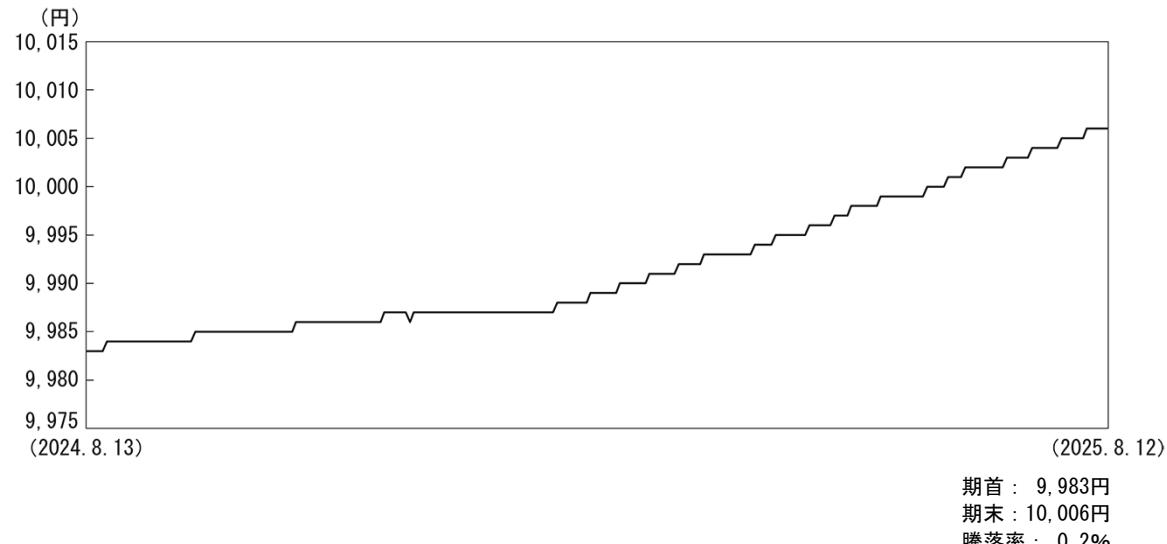
(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2024年8月14日～2025年8月12日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

短期金融資産の利回りがプラスで推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を上回りました。

■投資環境

2024年12月までは、無担保コールレート（オーバーナイト物）は概ね0.20%～0.25%の範囲で推移しました。2025年1月に日銀が政策金利を引き上げた後は、概ね0.45%～0.50%の範囲で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2024年8月14日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年8月14日～2025年8月12日)

公社債

国 内	国債証券	買付額	売付額
		千円 209,897	千円 — (210,000)

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還等による増減分です。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月14日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月12日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
			%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 40,000 (40,000)	千円 39,977 (39,977)	% 72.2 (72.2)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 72.2 (72.2)
合 計	40,000 (40,000)	39,977 (39,977)	72.2 (72.2)	— (—)	— (—)	— (—)	72.2 (72.2)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) ()内は非上場債で内書き。

(注4) 当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	% —	千円 10,000	千円 9,997	2025/9/1
第1309回国庫短期証券	—	10,000	9,995	2025/9/22
第1314回国庫短期証券	—	10,000	9,993	2025/10/14
第1318回国庫短期証券	—	10,000	9,990	2025/11/4
合 計		40,000	39,977	

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年8月12日現在)

項目	当 期 末	
	評価額	比 率
公社債	千円 39,977	% 72.2
コール・ローン等、その他	15,381	27.8
投資信託財産総額	55,358	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月12日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	55,358,428
公社債(評価額)	15,380,968
未収利息	39,977,320
	140
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	55,358,428
元本	55,322,707
次期繰越損益金	35,721
(D) 受益権総口数	55,322,707口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,006円

(注1) 信託財産に係る期首元本額72,646,896円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額17,324,189円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

 りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース
 30,006,333円

 りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース
 12,112,794円

 りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルレアルコース
 11,997,917円

 りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース
 845,150円

 りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース
 360,513円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.0006円

○損益の状況 (2024年8月14日～2025年8月12日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	51,000
(B) 有価証券売買損益	51,000
売買益	82,070
(C) 当期損益金(A+B)	82,070
(D) 前期繰越損益金	133,070
(E) 解約差損益金	△121,538
(F) 計(C+D+E)	24,189
次期繰越損益金(F)	35,721

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を致しました(2025年4月1日)。